

## Front Windshield Film: Dev Technical Data Sheet

Global フロントウィンドシールドフィルムは、走行中の飛び石によるガラスのひび割れを防ぎ、細かな傷から保護するために特別に作られた保護フィルムです。  
高性能の圧着型接着剤、超透明なポリウレタンフィルム、独自の自己修復コーティングで構成されており、優れた撥水性も備えています。

### Product Construction:

	保護フィルム(50.8 $\mu\text{m}$ )
	自己修復コーティング(12.7 $\mu\text{m}$ )
	TPUフィルム(152.4 $\mu\text{m}$ )
	感圧型接着剤(27.94 $\mu\text{m}$ )
	離型フィルム(76.2 $\mu\text{m}$ )

公称厚み(TPU+感圧型接着剤+自己修復コーティング):180 $\mu\text{m}$   $\pm$ 10%

### 主な特長

- ・優れた透明性
- ・自己修復性
- ・撥水性
- ・優れた耐薬品性
- ・曲面にも貼りやすい設計

### 性能項目

Sr. No.	特性	代表値
1	剥離強度:kg/インチ	> 0.5
2	60°光沢度	> 85
3	可視光線透過率	>90%
4	紫外線遮断率	>99%
5	表面接触角	>100°

## 使用後の手入れ・注意点

- a. ワイパーを乾いた状態で使わない
- b. シリコン製ワイパーの使用を推奨(傷防止のため/必要に応じて交換)
- c. ガラス面を清潔に保つため、2か月に1度ほどコーティングの再施工を推奨  
フィルムが完全に乾いてからワイパーを使用
- d. フィルムが完全に乾いてからワイパーを使用
- e. 洗淨や拭き取りは柔らかいクロスを使用
- f. 乾拭きは避け、必ず洗淨液を使う
- g. 雪や氷はワイパー作動前に取り除く
- h. シリコンタイプ、またはシリコン加工されたワイパーは、必要に応じて交換
- i. 汚れ(鳥の糞・汚れたウォッシャー液など)は放置せず早めに除去
- j. 高圧洗淨はフィルムの端に強く当てないこと

## 特記事項(保証・安全)

- a. フロントガラス用フィルムは、飛び石、ワイパー使用による摩耗、または推奨されているアフターケアおよびメンテナンスを遵守しなかったことによって生じた損耗については、保証対象外となる。
- b. フィルムが剥がれたり、ひび割れ、浮き、黄ばみ、透明度の低下、傷などの状態が見られる場合は、重大な事故や損害につながるおそれがあるため、車両を運転しないことを推奨されない。当社は、そのような状態で使用されたことに起因する損害や事故について、一切の責任を負わない。

## 施工条件

車両表面温度と作業環境温度:20~30℃  
埃の少ない環境で直射日光を避けて施工すること

## 保管条件

未開封で18~26℃、湿度50~60%で保管した場合の保存期限は1年

本書に記載の数値は代表値であり、参考情報として提供している。  
使用前に、使用目的に対して本製品が適しているかどうかを使用者自身が確認し、使用に伴うすべてのリスクと責任を負う。  
詳細については施工マニュアルを参照する。